

9-3 ZEROの物件データをリストアする

ZEROの「物件選択」ダイアログで出力したバックアップファイル（.fcbz）をリストアします。

- 1 ZEROの「物件選択」ダイアログで「インポート」をクリックします。

- 2 バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。

- 3 リストアするファイル（.fcbz）をダブルクリックします。

※ 複数選択はできません。

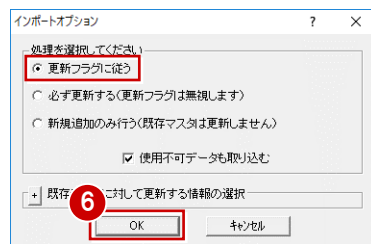
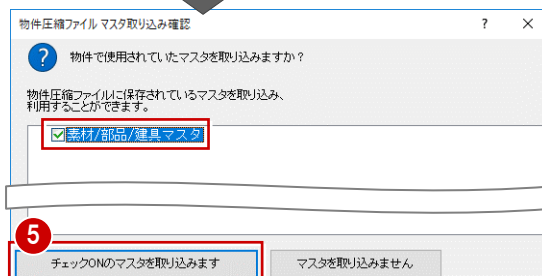
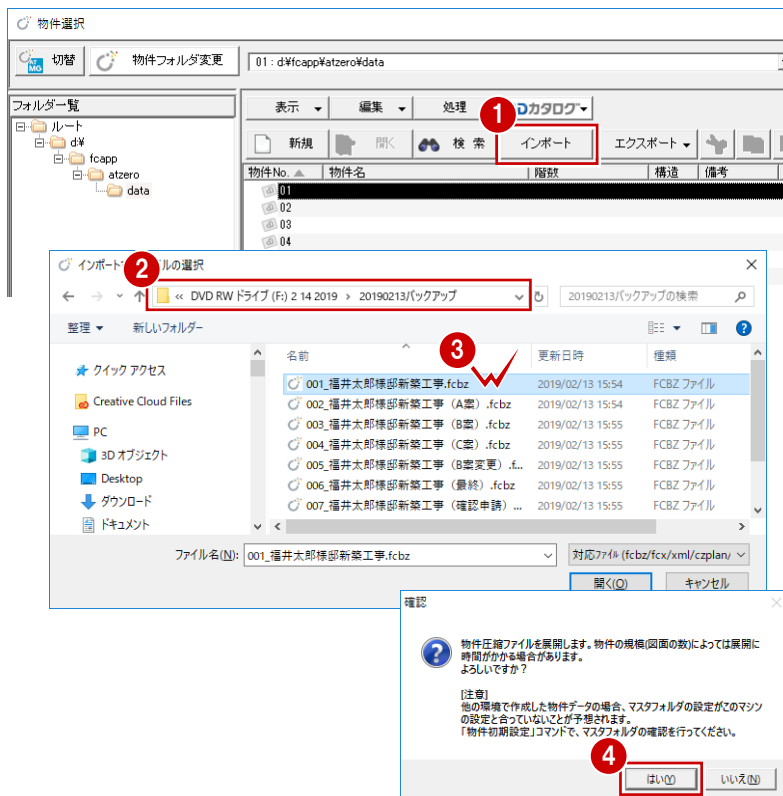
- 4 確認画面で「はい」をクリックします。

- 5 指定したファイルにマスタデータが保存されている場合は、「物件圧縮ファイル マスタ取り込み確認」ダイアログが表示されます。取り込むマスタをONにして、「チェックONのマスタを取り込みます」をクリックします。

- 6 続けて、「インポートオプション」ダイアログが開くので、「更新フラグに従う」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。

処理が完了すると、取り込まれた物件データが一覧に登録されます。

- 7 同様にして、バックアップファイルをすべて取り込みます。



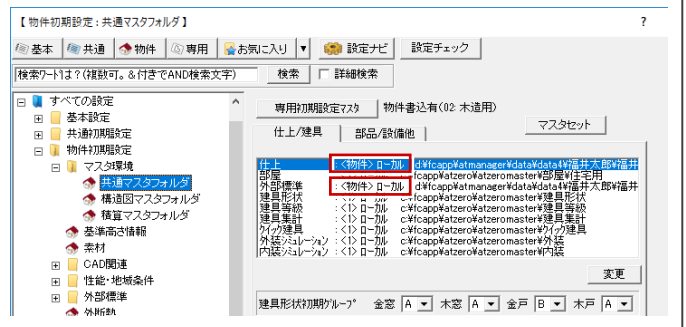
物件No.	物件名	階数	構造	備考	担当者	更新日
01	福井太郎様邸新築工事	2F	木造			2019/02/13
02	福井太郎様邸新築工事(A案)	2F	木造			2019/02/14
03	福井太郎様邸新築工事(B案)	2F	木造			2019/02/13
04	福井太郎様邸新築工事(C案)	2F	木造			2019/02/13
05	福井太郎様邸新築工事(B案変更)	2F	木造			2019/02/13
06	福井太郎様邸新築工事(最終)	2F	木造			2019/02/14
07	福井太郎様邸新築工事(確認申請)	2F	木造			2019/02/13
08	鈴木次郎・花子様邸新築工事	2F	木造			2019/02/13
09	鈴木次郎・花子様邸新築工事(A案)	2F	木造			2019/02/13
10	鈴木次郎・花子様邸新築工事(B案)	2F	木造			2019/02/13

物件No.	物件名	階数	構造	備考	担当者	更新日
01	福井太郎様邸新築工事	2F	木造			2019/02/13
02	福井太郎様邸新築工事(A案)	2F	木造			2019/02/14
03	福井太郎様邸新築工事(B案)	2F	木造			2019/02/13
04	福井太郎様邸新築工事(C案)	2F	木造			2019/02/13
05	福井太郎様邸新築工事(B案変更)	2F	木造			2019/02/13
06	福井太郎様邸新築工事(最終)	2F	木造			2019/02/14
07	福井太郎様邸新築工事(確認申請)	2F	木造			2019/02/13
08	鈴木次郎・花子様邸新築工事	2F	木造			2019/02/13
09	鈴木次郎・花子様邸新築工事(A案)	2F	木造			2019/02/13
10	鈴木次郎・花子様邸新築工事(B案)	2F	木造			2019/02/13

共通マスタなどが保存されている場合

共通マスタなどのマスタが保存されている物件データをインポートすると、「物件初期設定：マスタ環境 - ○○マスタフォルダ」には物件保存マスタ（物件フォルダ≠物件保存マスタ）のフォルダが設定されます。

利用するマスタをシステムマスタに戻したい場合は、「変更」をクリックして切り替えます。

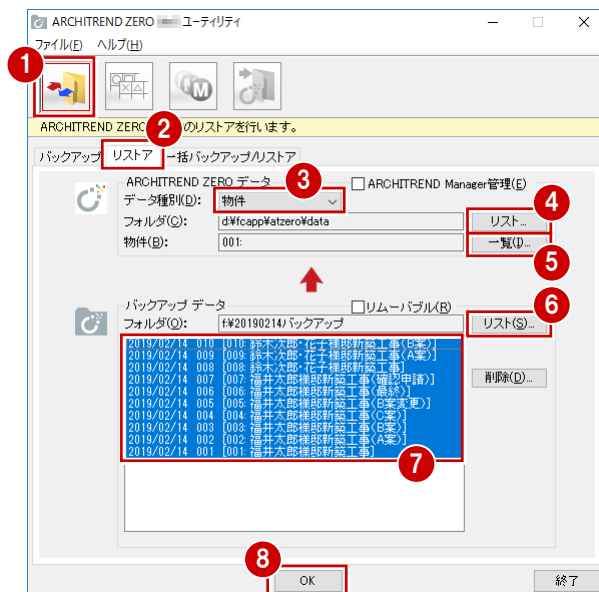


補足 ユーティリティでバックアップした物件データをリストアするには

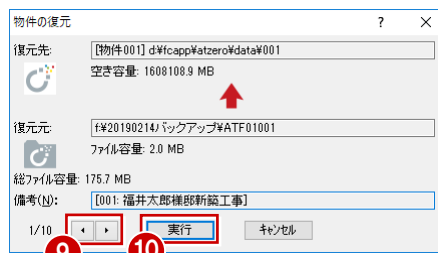
ZEROのユーティリティでバックアップした物件データは、ユーティリティでリストアします。

バックアップした全物件を一度にまとめてリストアできます。

- 1 2 ZEROのユーティリティを起動し、「バックアップ/リストア」の「リストア」タブをクリックします。
- 3 「データ種別」が「物件」になっていることを確認します。
- 4 「リスト」をクリックして、物件データフォルダを選びます。
- 5 「一覧」をクリックして、空き物件を選びます。
※ 複数物件あるときは、上位の空きからリストアされます。
- 6 「バックアップデータ」の「リスト」をクリックして、バックアップデータが保存されているフォルダを指定します。
- 7 一覧からリストアする物件をクリックします（複数選択可能）。
- 8 「OK」をクリックします。



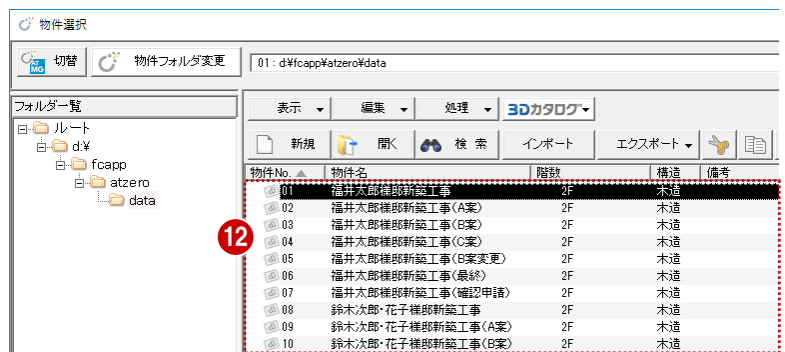
- 9 「◀」「▶」をクリックして、物件を確認します。
- 10 「実行」をクリックすると、処理が始まります。



- 11 「終了」をクリックしてユーティリティを閉じます。



- 12 ZEROを起動すると、選択した物件が取り込まれていることを確認できます。



9-4 ZEROのマスタをリストアする

ZEROのユーティリティで一括バックアップしたマスタのファイル(.ZMA)をリストアします。

- 1 2 ZEROのユーティリティを起動し、「バックアップ/リストア」の「一括バックアップ/リストア」タブをクリックします。

- 3 確認画面で「OK」をクリックします。

- 4 「リストア」タブをクリックします。

- 5 リストア先のバージョンを選びます。

- 6 「参照」をクリックして、バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。

- 7 一覧からバックアップファイルを選びます。

- 8 「リストアを実行」をクリックします。

- 9 リストア先のフォルダ名を設定して、「OK」をクリックします。
処理が始まります。

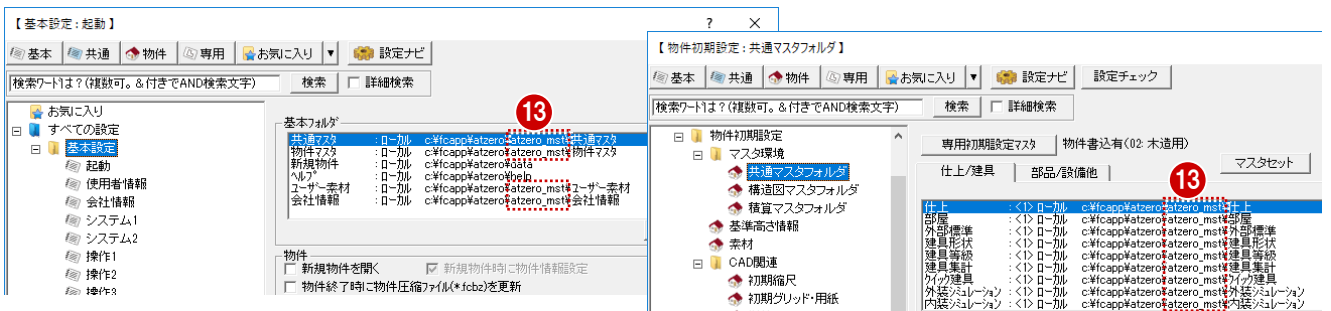
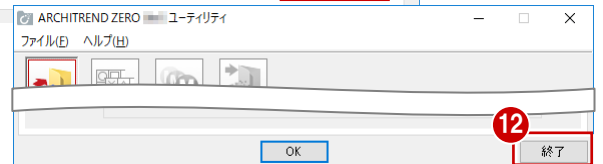
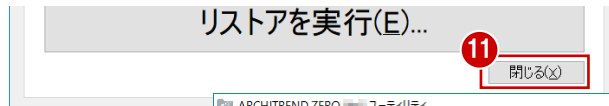
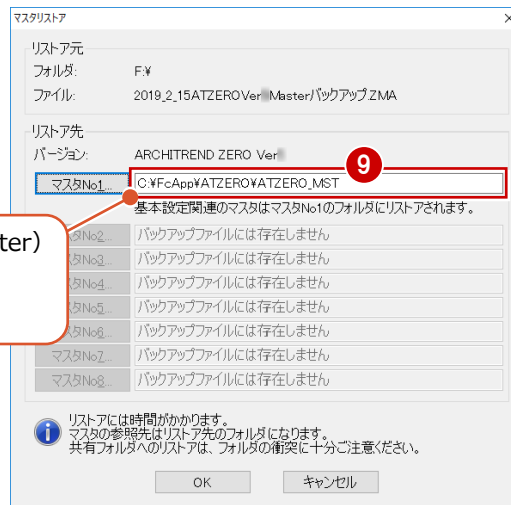
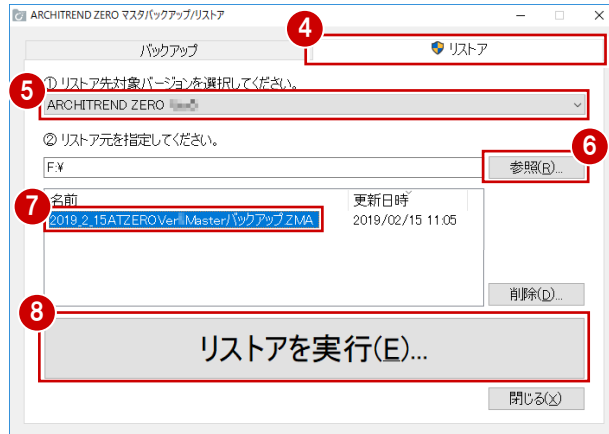
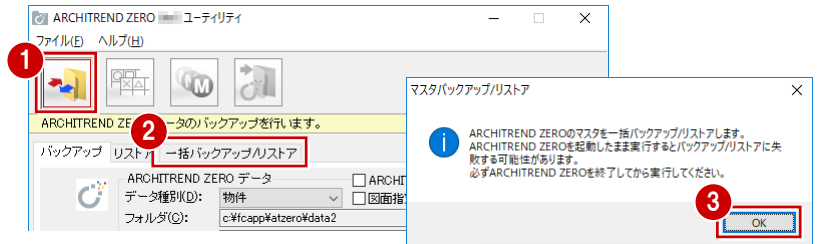
通常のパス (C:¥FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster) とは異なるフォルダ名が初期値として表示されます。
必ずリストア先の場所を確認してください。

- 10 完了の確認画面で「OK」をクリックします。

- 11 「閉じる」をクリックしてユーティリティに戻ります。

- 12 「終了」をクリックしてユーティリティを閉じます。

- 13 ZEROを起動すると、マスタフォルダが9で指定したフォルダになっていることを確認できます。



補足 個別にバックアップしたマスタをリストアするには

ZEROのユーティリティの「バックアップ」タブで個別にバックアップしたマスタは、「リストア」タブでリストアします。

- 1 2 ZEROのユーティリティを起動し、「バックアップ/リストア」の「リストア」タブをクリックします。
- 3 「データ種別」でマスタ（ここでは「物件マスタ」）を選び、参照フォルダを確認します。
- 4 「リスト」をクリックして、バックアップデータが保存されているフォルダを指定します。
- 5 一覧からリストアするマスタを選びます。
- 6 「OK」をクリックします。
- 7 「実行」をクリックします。
- 8 リストア先にマスタデータが存在する場合は、既存マスタ削除の確認画面が表示されます。既存のマスタを確認してから処理してください。削除するときは「はい」をクリックします。

